

(1) 全体

\*レンタカーでの移動で、旅費を出さずに済んだ。

長距離、長時間の運転をしてくださったドライバーに感謝。

レンタカー代は、神奈川大学が出したとのこと。すごい度量だと思う。

\*早川さんの引率で、迷子にならず無事故で各地を視察することができた。重ねて感謝申し上げる。

\*神戸の街は、震災後再建されただけあって、緑区とは違い、新しくてきれい(当たり前)。でもその陰には、血と汗と涙の結晶があり、様々な思いが詰まっているのだろうと思った。

\*食事は、懐石料理(大将が目の前で握ってくれる心づくしの一品)・中華料理ともうまかった。生きててよかった!!

(2) 被災地の視察

1. 岡山の水害は、時間雨量 20~30mmの雨が長時間降ったことが原因らしい。豪雨ではないので、危険を感じなかったのだろうか？人間の直観(フィーリング)だけに頼っていたら危ない。今後、小田川の水を本流の高梁川に流れ込みやすくするために、川の流れを変え、合流地点を 4.7Km 下流に移動させる大規模な治水工事が行われていた。完成までには様々な工程を、着実に予算内で工期を守って行わなければならないが、まるで難しい外科手術をみている(Doctor X)ような気がする(私たち失敗できないので!)
2. 淡路島の断層博物館は、地割れ・断層が起こった地形が保存され、建物がその土地を覆った形で保存してある。とてもリアル！地震による断層のでき方はいろいろあるが、岐阜県の根尾谷では揺れが収まった後に突然地面が割れ、断層ができたようだ。そこを歩いて人は(もしいたら)どうなっていたのだろうか？
3. 淡路島から神戸に向かう途中で、巨大な観音像(淡路島観音)が建っていた。ネットで調べてみたら、不動産経営で財をなしたオクウチグループの創業者 奥内豊吉が私財を投じて 1977 年に建てたそうだ。しかし、現在は管理者不在で廃墟と化しているようだ(危険なため中には入れない)。見た目だけで「丈夫で安全」と判断するのは危ないという戒めか。

4. 神戸市の慰霊祭（中央区東遊園地）は、当時を知らない（或いは覚えていない）若いスタッフが運営に携わっていた。また、「人と未来人材センター」前の広場で行われていた県主催の慰霊祭には、中学生（あるいは高校生）が多数参加していた。25年前の惨劇を風化させずに何としても語り継ぎ、継承して行こうという強い意志が感じられる。これは、やはり現地に行ってみなければ分からない感覚だ。
- 建物（センター）の前に各業者・団体がテントを出して製品や活動のPRを行っていたが、その中で「常温で食べられるレトルトのカレー」があった。これは便利だと思い覚えていて、緑区に帰ってから探してみたら100円ショップのCando(キャンドウ)で売っていた。食べてみたが、結構うまい。
- センターの4Fにある震災体験フロア「1.17シアター」で各地で地震発生時に起こったであろうビデオ（CG）の上映があった（衝撃の7分間）。建物が破壊され、ガラスが爆発にあったように吹き飛ばす映像をみて背筋が凍った。その場にいたら何も出来ず、助けることも助かることも出来なかっただろう。